

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日清オイリオグループ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒104-8285 東京都中央区新川一丁目23番1号	
本票作成	部署名：日清オイリオグループ(株)水島工場 管理グループ 総務・環境保安チーム				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	当水島工場では、主として大豆・菜種種子を原料とし、食用油脂及び家畜飼料原料となる脱脂油脂を製造している。従業員数：約100名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日清オイリオグループ(株)水島工場		岡山県倉敷市水島海岸通三丁目2番地	
	②	岡山営業所		岡山県岡山市北区駅前町二丁目5番24号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 28)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	29,008 t CO ₂	29,861 t CO ₂	28,138 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28)年度排出量
	①	日清オイリオグループ(株)水島工場	29,855 t CO ₂
	②	岡山営業所	6 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(28)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 3.3 %	3.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 [使用エネルギーのCO ₂ 換算値] / ([原料処理量]+[精製原料油処理量])	原単位当たり排出量		
		基準年度	(28)年度	目標年度
		86 kg CO ₂ /(t)	88.8 kg CO ₂ /(t)	83 kg CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・高圧ボイラの燃料転換(A重油⇒天然ガス)及び生産工程の運転管理(機器の運転台数等)の見直しを実施したほか、省エネへの空調機更新、インバーターの導入を行うと共に、照明の改善(蛍光灯、水銀灯⇒LED)及び高効率モーターへの順次更新も継続的に実施している。しかし、ボイラーの燃料転換を行ったため重油の使用量は削減できたが、その分、可燃性天然ガスの使用量が増加した。

【推進体制】

・組織体制：水島工場長を責任者とし、担当部署は管理グループ。エネルギー管理士1名。本社品質保証室へCO2排出量及び削減対策実施項目を定期的に報告し管理を実施。
 ・環境マネジメントシステム導入状況：2004年4月認証取得(水島工場)。2009年9月マルチサイトとして認証取得(国内生産4拠点、運送関連会社ストックポイント含む)。磯子事業場を統括事務局とし、継続的にシステムを運用。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	(28年度実施分) ※取り組みは全て水島工場 ・空調機及びコンプレッサの更新 ・インバーターの導入 ・照明の改善(蛍光灯、水銀灯→LED) ・steamトラップの更新(外部診断受診) ・運転方法(機器の運転台数等)の見直し ・廃熱の回収 (今後実施予定分) ※取り組みは全て水島工場 ・高効率モーターへの順次更新 ・高効率変圧器への順次更新 ・照明の改善(蛍光灯、水銀灯→LED) ・省エネルギーの導入 ・インバーターの導入 ・運転方法の見直しによる省エネ

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--